

団体名：お互いさまネット・オリーブ

活動地域：立川市・国分寺市・小平市

助成額：77,333 円、助成回数：2 回

【当初の目的に対しての結果】

「地域の方々と食を通じてつながり、誰もが孤立することなく暮らせる」という目標を思うように達成することができませんでした。コロナ禍では感染状況や蔓延防止等重点措置により実施の判断をせざるを得ず、参加者への周知もぎりぎりになり、ご迷惑をおかけすることになりました。本来の活動では会食を基本としていましたが、やむなくテイクアウトに切り替えました。長い会話ができずもどかしさが募りました。

【主催者の感想】

このような状況であるからこそ必要と思いながらも、活動を縮小せざるを得なかったことに忸怩たる思いがあります。テイクアウトは苦肉の策ですが、受け取りに来られない方、本当にサポートを必要とさせている方がどこにおられるか、アクセスするのはどうしたらよいのか考えさせられました。社会福祉協議会や地域包括支援センター、地域の NPO 団体などと情報交換の必要があると思いました。

【支援を受けられた方の声】

お弁当のテイクアウトでは、おしゃべりの楽しみがなくなったとがっかりされる方もありました。「食堂」を実施するときは、感染対策上、調理の手間や時間を短くするために、電子レンジ使用のものを多用させていただきました。お弁当は美味しいと好評でしたが、それはまず東都生協様の食材の力が大きかったと思います。安心でおいしいものでからだを整えることはコロナ禍でなくても私たちにできる大切なことだと思います。

【その他、意見・要望など】

久しぶりにお会いしたという方同志で近くの公園でお弁当を食べて帰った、という後日談も聞こえてきましたが真相解明はしてい

ません。これまでのところお元気そうなのでほっとしています。私たちは活動拠点の契約が終わるのに伴い、この活動を終了いたしますが、このような優しい思いのこもった実のある助成の枠組を続けていただくと嬉しいです。長い間活動を支えていただき、心より感謝申し上げます。

